

2014年やしろの森公園での観察会・夜間採集会

河村 幸子¹⁾・北村 健²⁾・大谷 剛³⁾

はじめに

やしろの森公園は国蝶オオムラサキの食草エノキの植樹活動を進め、ギフチョウの食草カンアオイを植えるなど、『昆虫の里』づくりに取り組みながら、自然の里山を大切に育てようという公園である。年間を通じて、自然調査や里山自然講座などのイベントが催されており、企業とも連携するなど楽しい活動が展開されている。所在地は〒673-1414 兵庫県加東市上久米1081-3。連絡先は TEL : 0795-44-1510 FAX : 0795-44-1512である。

今回の観察会・夜間採集会は東播磨支部の主催により、2014年7月25日16時～21時30分まで実施。参加者は大谷 剛会長を講師に、会員は稲葉浩介、井上清仁、植田好人、梶原洋一、片山貴史、上根大輔、西口龍平、西本 裕、横山法次、北村 健、河村幸子。一般参加者は、辰巳澄子（加古川西養護教諭）、高校生は井上裕貴（加古川西高）、中学生は辰巳恵菜、幼児は辰巳伊葉（4歳）の16人であった。

当日は明るい時間から公園内を昆虫観察。広くて起伏に富んだ地形をしており昆虫たちにとって豊かな自然があふれていた（写真1）。参加者にはご家族と説明を聞きながらの楽しい散策となった（写真2）。

夕方からはみんなで夜間灯火採集の準備にかかる（写真3）。みなさんわくわくする気持ちを抑えて作業にかかり、どんな昆虫が来るのか、期待があふれる。来ました！来ました！ものすごい数！！思わず、「オー——！」「すごいな——！」と、声上がる（写真4）。捕まえたものを酢酸エチルが入った毒瓶（クリープの空瓶）に次々と放り込む。

採集が終わると室内で標本づくりの講習会。大谷剛会長が採集品を手早く昆虫標本につくりあげていく（写真5）。細かな所にも長年培ってきた独自の工夫があり、初めてその過程を目の当たりにした多くの方々には、そのひとつひとつが参考になったに違いない。

1) 採集した昆虫

竹内吉蔵（1955）、福田ほか（2009）を参照して、採集した31種49個体を同定した。

カメムシ目 Hemiptera (5種)

ヒグラシ *Tanna japonensis* 〈1〉

ニイニイゼミ *Platypleura kaempferi* 〈1〉

イネクロカメムシ *Scotinophora lurida* 〈1〉

ツチカメムシ *Macroscytus japonensis* 〈1〉

アカメガシワハネナガウンカ *Vekunta maloti* 〈1〉

甲虫目 Coleoptera (21種)

ハネカクシStaphylinidae sp. 〈1〉

オオスジコガネ *Mimela costata* 〈1〉

コガネムシ Scarabaeidae sp. 〈1〉

コフキコガネ *Melolontha japonica* 〈1〉

オオクロコガネ *Holotrichia parallela* 〈4〉

スジコガネ *Mimela testaceipes* 〈1〉

マメコガネ *Popillia japonica* 〈1〉

ヒメコガネ *Anomala rufocuprea* 〈1〉

キョウトアオハナムグリ *Protaetia lenzi* 〈1〉

セマダラコガネ *Anomala orientalis* 〈1〉

コイチャコガネ *Adoretus tenuimaculatus* 〈2〉

アオドウガネ *Anomala albopilosa* 〈1〉

アカヒゲヒラタコメツキ *Neopristiphorus serrifer* 〈1〉

シロテンハナムグリ

Protaetia orientalis submarumorea 〈1〉

フタモンウバタマコメツキ

Cryptalaus larvatus pini 〈1〉

ミイデラゴミムシ *Pheropophus jessoensis* 〈1〉

コハンミョウ *Myriochila speculifera speculifera* 〈6〉

コガムシ *Hydrochara affinis* 〈2〉

ヒメガムシ *Sternolophus rufipes* 〈6〉

ニセノコギリカミキリ *Prionus sejunctus* ♂♀ 〈2〉

ミヤマカミキリ *Massicus raddei* 〈1〉

ハチ目 Hymenoptera (1種)

モンズメバチ *Vespa crabro flavofasciata* 〈1〉

ハエ目 Diptera (2種)

ショウジョウバエ *Drosophila* sp. 〈1〉

所属不明ハエ 〈1〉

カマキリ目 Mantodea (1種)

オオカマキリ *Tenodera aridifolia* 〈1〉

1) 〒651-1331 神戸市北区有野町唐櫃119-1-201

2) 〒673-0413 三木市大塚2-2-34

3) 〒651-1505 神戸市北区道場町下部869-5

2016年12月5日受理

チョウ目 Lepidoptera (1種)
クロモンアオシヤク *Comibaena delicatior* 〈1〉
バッタ目 Orthoptera (1種)
ツマグロイナゴ *Stethophyma magister* 〈1〉
トンボ目 Odonata (1種)
オニヤンマ *Anotogaster sieboldii* 〈2〉

2) 見かけた昆虫・標本にしていない昆虫

ウバタマコメツキ *Cryptalaus berus*
カゲロウ *Ephemeroptera* sp.

採集した昆虫はすべて標本にした。種名に付けた sp.は「・・・の一種」を意味し、未同定のものである。〈〉内の数字は個体数。

たくさんの昆虫がいることを確認できた今回の観察会であるが(写真6), 観察会で採集したものはきちんと

と整理して残していきたい(写真7)。自然環境は毎年少しずつ変わったり突然大きく変化したりする。採集記録は誰かが意識して残していかないと, 多くの観察者がいたとしてもかすかな記憶にも留まらないのが普通だ。今回は7月25日だったが, 今後も機会のあるたびに採集や調査を続け, 季節ごとに見られる生き物をより多くの人々に紹介していきたいと考える。

引用文献

福田晴夫・山下秋厚・福田輝彦・江平憲治・二町一成・大坪修一・中峯浩司・塚田 拓. 2009. 増補改定版昆虫の図鑑 採集と標本の作り方. 262pp. 南方新社, 鹿児島市.
竹内吉蔵. 1955. 原色昆虫図鑑(上) 甲虫編. 274pp. 保育社, 大阪市.



写真1 やしろの森公園の散策マップ。いろいろなコースが用意されている。



写真2 生き物を見つけてはお話を聞いて。草原・水田・湿地・林など、たくさんの昆虫がいきいきと暮らす楽園になっている。



写真3 ライトトラップの準備。竹竿に白いシートを張り、蛍光灯とブラックライトをぶら下げる。



写真4 ライトトラップのシートに飛来したミヤマカミキリ。ブラックライトから出される紫外線に引き付けられる。



写真5 昆虫標本づくりのデモンストレーションをする大谷会長。昆虫針、玉針、ピンセットなどいろいろな小道具が必要となる。



写真6 展足する前の採集品を指さし解説する上根大輔会員。左手はそれを撮影する井上清仁会員。右手の2つのクリーブの瓶には酢酸エチルが入っていて10秒ほどで昆虫の息の根をとめることができる。



写真7 展足した昆虫標本。玉針で足を展ばし整える。5mm以下のものには左下のような三角の小台紙に木工用ボンドで貼り付ける。